



## 愛の献血

最近の交通事故、労働災害の多発、輸血を必要とする疾患の増加は、医学の進歩とあいまってますます多くの、そして良質の輸血用血液が必要となっています。輸血は人間だけが出来る生命の助け合い、人間の最高の義務といえるでしょう。

南国市献血推進委員会でも発足以来、毎月20日を愛の献血日と定め献血を実施してまいりました。今日までの市民のみなさんのあたたかいご理解と協力にたいへん感謝しています。これらのあたたかい献血により多くの人命が救われたことを喜びにたえません。

本会8月の献血を次のように実施することになりましたので、この機会により多くの人が献血をして下さるようお願いします。

なお、献血された人には全国共通の献血手帳が交付され、あなたの自身をはじめ、あなたの家族、親戚の人に万一輸血の必要が出来た場合何型の血液でも優先的に供血されます。

▼日時 8月22日(木曜日)

午前9時30分～午後10時30分

▼場所 南国市役所

採血時にはその場で医師の診断のうえ赤十字血液センターの採血車により採血されます。



## 自己負担金の給付

献血事業の一環として昭和46年より、高知県独自の輸血用血液代金自己負担金給付制度をもつて献血した人及び配偶者並びに二親等までの親族が輸血を受けた場合、医療機関への支払った自己負担金を給付してまいりましたが、昭和49年4月1日以降において疾病の治療で輸血を受けたすべての方に対して、その血液代金にかかる自己負担を医療機関に支払った場合、これを高知県赤十字血液センターを窓口にして国の予算で負担し、実質的に血液代金を無料にして、献血者の善意を広く及ぼそうというものです。

▼申請方法

申請書は、申請者の記載すべき事項をすべて記入し、医療機関の証明をえて、輸血を受けた人の居住する都道府県にある血液センターに送付して下さい。

なお、申請書は南国市役所公害環境課保健係にあります。

南国市献血推進会  
公害環境課

## 愛の献血



## 海岸の一斉清掃

### 台風八号のあとしまつ

七月十三日、十市、浜改田、浜、久枝の海岸一帯で、地元の老人クラブ、婦人会、漁業組合のみなさんによって一斉清掃が行なわれました。これは七月六日の台風八号によつて、チリ、アタマ、古ビニール

などが山と打ち上げられ、浜改田などから支給できず、市は独自に住家の金額及び半壊世帯などに見舞金を出して市民の福祉、生活の安定をはかるようになりました。

自然災害により、死亡した市民の遺族に災害弔慰金、被害を受けた世帯主に災害援護資金の貸付制度ができました。ところが台風八号には災害救助法の適用がなかったところから支給できず、市は独自に住家の金額及び半壊世帯などに見舞金を出して市民の福祉、生活の安定をはかるようになりました。

午前五時頃より午後五時頃まで

三百人あまりの老人、婦人が酷暑の中で額の汗をぬぐいながら清掃しました。市からは、のべ五百間

にわたりビーチクリーナーも出て、

山と集められたアカタや古ビニールは次々に焼かれ、海岸線は見る見るうちにもの美しい姿になりました。

見込んで大清掃作戦が展開されたものです。

午前五時頃より午後五時頃まで

三百人あまりの老人、婦人が酷暑

の中で額の汗をぬぐいながら清掃

しました。市からは、のべ五百間

にわたりビーチクリーナーも出て、

山と集められたアカタや古ビニールは次々に焼かれ、海岸線は見る見るうちにもの美しい姿になりました。

見込んで大清掃作戦が展開されたものです。

午前五時頃より午後五時頃まで

三百人あまりの老人、婦人が酷暑

の中で額の汗をぬぐいながら清掃